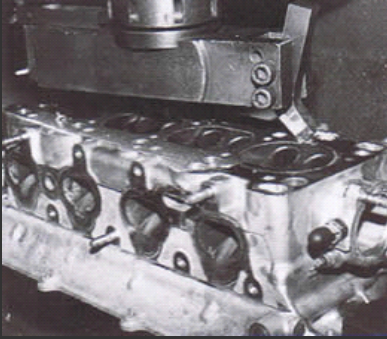


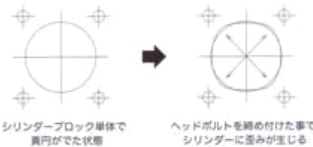
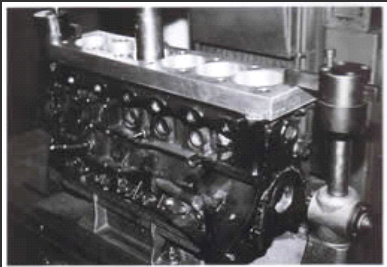
ヘッド面研



ヘッドとシリンダーブロックとの合わせ面に歪みが生じた場合、面研を行って平面にします。また、面研を行うことで、合わせ面に付いたヘッドガスケットの締め付け痕も取り去ることができ、ヘッドガスケットのシール性を向上させます。

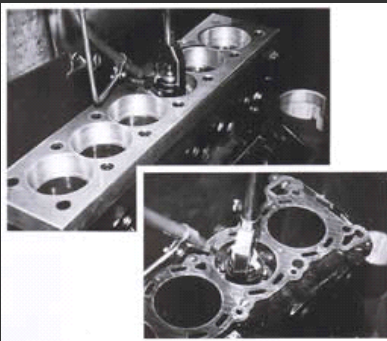
また、ヘッドガスケットの厚みで圧縮比を決める際に、微妙な狂いを調整することも可能です。
メタルガスケットのみを交換する際に最小面研をすることをおすすめしています。車種によってはヘッドとブロックを同時に面研しなければならないケースもあります。

ダミーヘッドボーリング



シリンダーは単体で真円が出ていたとしても、ヘッドを組み付けた時にヘッドボルトの締め付け力で歪みが発生してしまいます。ダミーヘッドボーリングは、ヘッドボルトをダミーヘッド上から締め付ける事で、ヘッドボルトのテンションから起こる歪みを、実際にヘッドが組み付けられた状態と同じように再現します。その状態でボーリング加工を行うためエンジンを組み付けた時の真円度を飛躍的に向上させます。

シリンダーホーニング



シリンダーのホーニングはエンジンの用途に合わせた仕上げに対応致します。

一般的なチューニングエンジンに行う「普通目」、純正シリンダーに近いクロスハッチの耐久性を重視した「粗目」、ハイパワーを目指すためにフリクションロスを最低限に抑えた「細目」での加工が可能です。一般的に言われている「プラトーホーニング」は、細目にあたります。

また、特別仕様で、クロスハッチをほとんど残さない「スーパープラトー」仕様も加工可能です。